

## 答辞

弥生三月。暖かな日差しの中、春の息吹が感じられる季節となりました。突然の休校。いろいろな不安がある中、無事に入試を終えて私達三年生百九十八名は今日寺井中学校を卒業します。

三年前の春、とても不安の中で見たクラス発表。着慣れない制服を着て、知らない名前にドキドキしながら、私たちは寺井中学校に入学しました。自転車小屋でまだ何もわからなかった私たちを温かく迎えてくださった先輩方の頼れる姿を今でも覚えています。

二年生。初めての後輩ができ、憧れられるような先輩になってみせると強く心に誓いました。部活動にも慣れ、後輩に負けまいと、先輩の足を引っ張らないようにと毎日練習しました。

そして、三年生。震災学習を通して命の尊さを学んだ修学旅行。練習の成果を出し切った部活動最後の大会。各団が競い合い、四冠目指した体育祭。この体育館いっぱい「Beautiful Harmony」を響かせた文化祭。入試に向けて勉強漬けの毎日。この三年間のすべてが私たちにとってかけがえのない思い出です。

私が辛く挫けそうな時、苦楽を共にした仲間たちの笑顔に何度救われ何度支えられたことか分かりません。みんながいてくれたからこそ、ここまで来ることができました。これから先、それぞれが別々の道を行きます。とても寂しい思いでいっぱいですが、それ以上にこの三年間をみんなと一緒に過ごせたことがとても嬉しいです。みんな。三年間本当にありがとう。

一、二年生のみなさん。みなさんにとって私たちはどんな先輩だったのでしょうか？みなさんにとっての理想の先輩だったのでしょうか？次はあなたたちが寺井中学校を背負っていく番です。これから入学してくる新入生に先輩としての立派な姿を、胸を張って見せてあげてください。そして、精一杯中学校生活を謳歌してください。応援しています。これまでありがとう。

お父さん、お母さん、家族の皆さん。今まで数えきれないほどの迷惑をかけてきました。素直になれずイライラをぶつけてしまったこと、話しかけられても無視したこと、他にもたくさん嫌な思いをさせてしまったと思います。それでもずっと私たちを支え、応援してくださいました。それに気づいていたのに気恥ずかしくて「ありがとう」の言葉が出せない自分。今思うと家族のみんなに

甘えていたのだと思います。だから、この新たな門出の日に、ずっと言えなかったことを伝えます。これまでありがとう。そして、これからもよろしくお願いします。

先生方。時に厳しく、時に優しく私たちをご指導くださいました。私たちはたくさんの心配と迷惑をかけてきました。それでも、先生方は私たちを根気よく見守って下さいました。私たちが悩み迷ったときに、寄り添い話を聞いてくださいました。私はそれがとても嬉しくて、そして何よりも心強く感じました。この三年間、私たちを支えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これから始まる新しい生活。不安なこともたくさんありますが、この寺井中学校で過ごした日々を誇りにして乗り越えていこうと思います。そして、自分の夢に向かって歩き続けていきます。

最後になりましたが、卒業生を代表し、当たり前の日常を送ることができたこと、そして私たちを支えて下さったすべての方々に心からの感謝の言葉を申し上げ、答辞といたします。

令和二年三月十三日

令和元年度卒業生代表 近藤 敬太